

予算科目目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年齢						実施計画										
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標										
データ件数(【実績値】150件) 【目標値】令和6年度：150件 令和7年度：150件 令和8年度：150件 令和9年度：150件 令和10年度：150件 令和11年度：150件)-												(アウトカムは設定されていません)										
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ	-	力	-	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	個人の生活習慣やその改善に関する情報を専門的知識を有する者から指導を頂く	毎年度100人以上実施し、保健指導を受けていない人をなくす	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	実施人数(【実績値】47人) 【目標値】令和6年度：150人 令和7年度：150人 令和8年度：150人 令和9年度：150人 令和10年度：150人 令和11年度：150人)「情報提供」50人「動機付け支援」70人「積極的支援」50人情報提供70人												(アウトカムは設定されていません)									
疾病予防	3	既存	日帰りドック健診	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者	1	オ	-	ウ	-	19,530	15,500	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に診査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	30歳・35歳・40歳以上の被保険者・被扶養者について、日帰り人間ドックの利用を図り、健康状態を毎年継続的に検査し、正しい健康生活を維持、健康の保持増進を図るものとする。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	健診案内(【実績値】6回) 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)イントラネット・ホームページ												受診率(【実績値】20%) 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-									
	3	既存	脳ドック	全て	男女	45～74	被保険者,被扶養者	1	オ	-	力	-	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	脳ドックの実施により、脳疾病の早期発見に努めると共に、受診結果、症状により、保健師から指導を行っていくものとする。	40歳節目・45歳以上（隔年受診）の被保険者・被扶養者について、脳ドックを実施し脳疾患の早期発見にも努めるものとする。また、結果、症状によりドック同様保健師から保健指導を行っていくものとする。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	健診案内(【実績値】6回) 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)イントラネット・ホームページ												(アウトカムは設定されていません)									
	3	既存	大腸疾患検査	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	オ	-	力	-	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	食生活の欧米化が原因と考えられている「大腸がん」は近年急速に増加の一途をたどり、疾病の早期発見と予防に努めるため、日帰り人間ドックの検査項目にない大腸疾患検査を40歳以上の被保険者・被扶養者に実施し、生活習慣の改善に努める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	健診案内(【実績値】6回) 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)イントラネット・ホームページ												(アウトカムは設定されていません)									
3	既存	特定健診	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	オ	-	力	-	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とする。	40歳～74歳の被扶養者を対象に健康管理を目的とし、特定健診を実施する。日帰りドック・脳ドック受診者は対象外とする。巡回健診（婦人科検診を含む）女性を対象とし、日帰りドックとの併用は不可。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
ホームページ健診案内通知(【実績値】3回) 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)-												受診率(【実績値】15%) 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)-										
4	既存	保健指導	全て	男女	30～74	基準該当者	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	肥満は、生活習慣病の大きな原因です。生活習慣病は軽度でも、複数の異常が重複することで、思わぬ結果をもたらします。40歳代からの肥満対策。重症化予防対策。健診結果が悪いにもかかわらず、身受診、治療中断している人があります。文書指導は大勢の人に対応できるのですが、受診者の反応が見えにくい上、その後の行動把握ができないところがあります。面談、電話を増やしていきたい。	-			
実施者(【実績値】275人) 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)個別受診動奨、対面での説明、実施者数を増やせば、たとえ回収率が同じでも、意識を持ってくれる人は増えると考える。												回収率(【実績値】47%) 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)-										
1	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	オ	-	シ	-	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチン接種を推奨する事による感染予防対策	インフルエンザワクチンは、発症を抑える効果については一定程度認められています。さらに、発症したとしても肺炎や脳炎などの重症化を予防する効果があります。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
案内回数(【実績値】3回) 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)-												接種率(【実績値】24.8%) 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-										

予算 科目	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
			対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標									
体 育 奨 励	8	既 存	ラフォーレ倶 楽部の活用	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	-		シ	-							ラフォーレ倶楽部を活用し、ウォーキング などに参加し健康増進に資する。	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
	ホームページ掲載回数(【実績値】5回 【目標値】令和6年度：-回 令和7年度：-回 令和8年度：-回 令和9年度：-回 令和10年度：-回 令和11年度：-回)-													利用率(【実績値】1.35% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%)-							

注1） 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2） 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注3） ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ＩＣＴの活用 オ．専門職による健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ．定量的な効果検証の実施

ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．就業時間内も実施可（事業主と合意） シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス．その他

注4） ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ．自治体との連携体制の構築 カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ．保険者協議会との連携体制の構築 ク．その他の団体との連携体制の構築

ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ．その他